

【 国家基本政策委員会 】

(1) 審議概観

第156回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を5回開き討議を行った。

〔国政調査等〕

国家基本政策委員会合同審査会は、5回開かれ、菅直人君、志位和夫君、小沢一郎君（第2回及び第4回のみ）、土井たか子君が発言者となって、小泉内閣総理大臣との間で討議が行われた。今国会開会中、3月20日から5月2日にかけて米国によるイラク攻撃が行われ、それをめぐる論議が各回における合同審査会の中心となった。

2月12日の合同審査会（第1回）では、瓦力衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、イラクにおける大量破壊兵器に関する査察延長問題、米国のイラク先制攻撃の是非、我が国の対北朝鮮政策、プライマリーバランス回復に向けた取組、医療費の3割負担による受診抑制等について討議が行われた。

3月19日の合同審査会（第2回）では、江田五月参議院国家基本政策委員長が会長を務め、米国によるイラク先制攻撃に対する日本政府の支持表明の是非、福田官房長官の「日朝平壤宣言の破棄もあり得る」発言、政治の大局判断に関する原則・価値基準等について討議が行われた。

4月23日の合同審査会（第3回）では、瓦力衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、暴力団との関係が取り沙汰される松浪健四郎議員の進退、小泉内閣の公約達成度、北朝鮮の核開発問題における中国との連携及び我が国の方策、改革派知事の閣僚への登用、米英軍の対イラク戦争の追認拒否、イラク復興支援の必要性、国連による大量破壊兵器の査察再開、イラク復興人道支援室に対する人員派遣等について討議が行われた。

6月11日の合同審査会（第4回）では、江田五月参議院国家基本政策委員長が会長を務め、イラクの大量破壊兵器が発見されなかった場合の総理の対応、国民との政権公約と言われるマニフェストの意義及び作成に対する所見、政策において内閣と与党が乖離している現状、イラクの大量破壊兵器保持に対する根拠、北東アジアの友好関係構築に対する提言、外国人の地方参政権付与、イラクへの自衛隊派遣等について討議が行われた。

7月23日の合同審査会（第5回）では、瓦力衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、犯罪被害者救済軽視の現状、イラクの大量破壊兵器存在の有無に関する情報操作疑惑、戦闘行為が続くイラクへの自衛隊派遣の是非、若年者雇用対策等について討議が行われた。

(2) 委員会経過

○平成15年2月4日（火）（第1回）

- 国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。
- 国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。

○平成15年3月19日（水）（第2回）

- 理事の補欠選任を行った。

○平成15年7月23日（水）（第3回）

- 理事の補欠選任を行った。

○平成15年2月12日（水）（合同審査会 第1回）

- 国家の基本政策に関する件について菅直人君、志位和夫君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成15年3月19日（水）（合同審査会 第2回）

- 国家の基本政策に関する件について菅直人君、志位和夫君、小沢一郎君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成15年4月23日（水）（合同審査会 第3回）

- 国家の基本政策に関する件について菅直人君、志位和夫君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成15年6月11日（水）（合同審査会 第4回）

- 国家の基本政策に関する件について菅直人君、志位和夫君、小沢一郎君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成15年7月23日（水）（合同審査会 第5回）

- 国家の基本政策に関する件について菅直人君、志位和夫君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。